

令和6年度第2回野田市自立支援・ 障がい者差別解消支援地域協議会次第

日時 令和6年10月18日（金）

午前10時から

場所 野田市役所 8階大会議室

1 開会

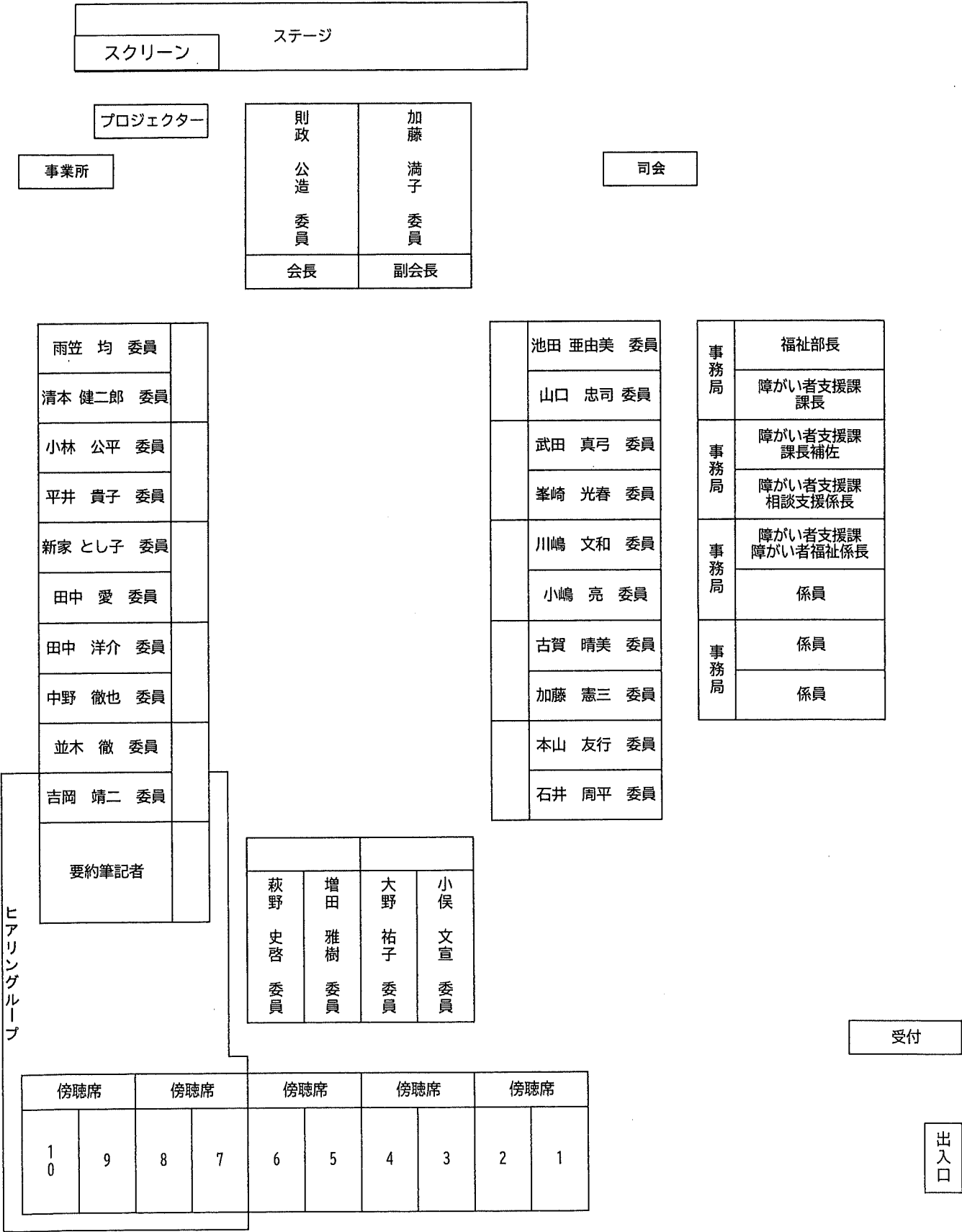
2 議題

- ・日中サービス支援型共同生活援助事業所の実施状況に係る報告・評価について
（5法人 7事業所）

3 その他

4 閉会

令和6年度第2回野田市自立支援・障がい者差別解消支援地域協議会 席次表



野田市自立支援・障がい者差別解消支援地域協議会委員名簿

令和6年10月1日現在

氏名	任期	選出区分	選出団体等	備考
岡田 吉郎	R6.4.1から R8.3.31まで	障がい者の福祉、医療、教育、雇用又は権利の擁護に関連する職務に従事する者	一般社団法人野田市医師会	
雨笠 均	R6.4.1から R8.3.31まで	障がい者の福祉、医療、教育、雇用又は権利の擁護に関連する職務に従事する者	千葉司法書士会柏支部	
清本 健二郎	R6.4.1から R8.3.31まで	障がい者の福祉、医療、教育、雇用又は権利の擁護に関連する職務に従事する者	中核地域生活支援センターのだネット	
小林 公平	R6.4.1から R8.3.31まで	障がい者の福祉、医療、教育、雇用又は権利の擁護に関連する職務に従事する者	野田市立こだま学園	
平井 貴子	R6.10.1から R8.3.31まで	障がい者の福祉、医療、教育、雇用又は権利の擁護に関連する職務に従事する者	柏人権擁護委員協議会 野田部会	新
新家 とし子	R6.4.1から R8.3.31まで	障がい者の福祉、医療、教育、雇用又は権利の擁護に関連する職務に従事する者	野田市民生委員児童委員協議会	
則政 公造	R6.4.1から R8.3.31まで	障がい者の福祉、医療、教育、雇用又は権利の擁護に関連する職務に従事する者	社会福祉法人円融会	
田中 愛	R6.4.1から R8.3.31まで	障がい者の福祉、医療、教育、雇用又は権利の擁護に関連する職務に従事する者	障害者就業・生活支援センターは一とふる	
田中 洋介	R6.4.1から R8.3.31まで	障がい者の福祉、医療、教育、雇用又は権利の擁護に関連する職務に従事する者	社会福祉法人 野田市社会福祉協議会	
中野 徹也	R6.4.1から R8.3.31まで	障がい者の福祉、医療、教育、雇用又は権利の擁護に関連する職務に従事する者	社会福祉法人野田市社会福祉協議会（野田市成年後見支援センター）	
並木 徹	R6.4.1から R8.3.31まで	障がい者の福祉、医療、教育、雇用又は権利の擁護に関連する職務に従事する者	野田市障がい者 基幹相談支援センター	
萩野 史啓	R6.4.1から R8.3.31まで	障がい者の福祉、医療、教育、雇用又は権利の擁護に関連する職務に従事する者	社会福祉法人野田みどり会	
増田 雅樹	R6.4.1から R8.3.31まで	障がい者団体を代表する者	社会福祉法人野田芽吹会 野田芽吹学園	
大野 祐子	R6.4.1から R8.3.31まで	障がい者団体を代表する者	野田市障がい者団体連絡会	
加藤 満子	R6.4.1から R8.3.31まで	障がい者団体を代表する者	野田市障がい者団体連絡会	
小俣 文宣	R6.4.1から R8.3.31まで	障がい者団体を代表する者	野田市障がい者団体連絡会	
吉岡 靖二	R6.4.1から R8.3.31まで	障がい者団体を代表する者	野田市障がい者団体連絡会	
石井 周平	R6.4.1から R8.3.31まで	関係行政機関の職員	千葉県柏児童相談所	
本山 友行	R6.4.1から R8.3.31まで	関係行政機関の職員	松戸公共職業安定所 野田出張所	

氏名	任期	選出区分	選出団体等	備考
米 二貴	R6.4.1 から R8.3.31 まで	関係行政機関の職員	千葉県野田警察署 生活安全課	
加藤 憲三	R6.4.1 から R8.3.31 まで	関係行政機関の職員	千葉県立野田特別支援学校	
古賀 晴美	R6.4.1 から R8.3.31 まで	関係行政機関の職員	千葉県野田健康福祉 センター地域保健福祉課	
石山 哲士	R6.4.1 から R8.3.31 まで	関係行政機関の職員	野田市消防署	
小嶋 亮	R6.4.1 から R8.3.31 まで	関係行政機関の職員	野田市人事課	
川嶋 文和	R6.4.1 から R8.3.31 まで	関係行政機関の職員	野田市商工労政課	
間々田 英示	R6.4.1 から R8.3.31 まで	関係行政機関の職員	野田市教育委員会指導課	
峯崎 光春	R6.4.1 から R8.3.31 まで	関係行政機関の職員	野田市保健センター	
武田 真弓	R6.4.1 から R8.3.31 まで	関係行政機関の職員	野田市人権・男女共同 参画推進課	
山口 忠司	R6.4.1 から R8.3.31 まで	関係行政機関の職員	野田市高齢者支援課	
池田 亜由美	R6.4.1 から R8.3.31 まで	関係行政機関の職員	野田市子ども家庭 総合支援課	

日中サービス支援型共同生活援助事業所の実施状況に係る報告・評価について

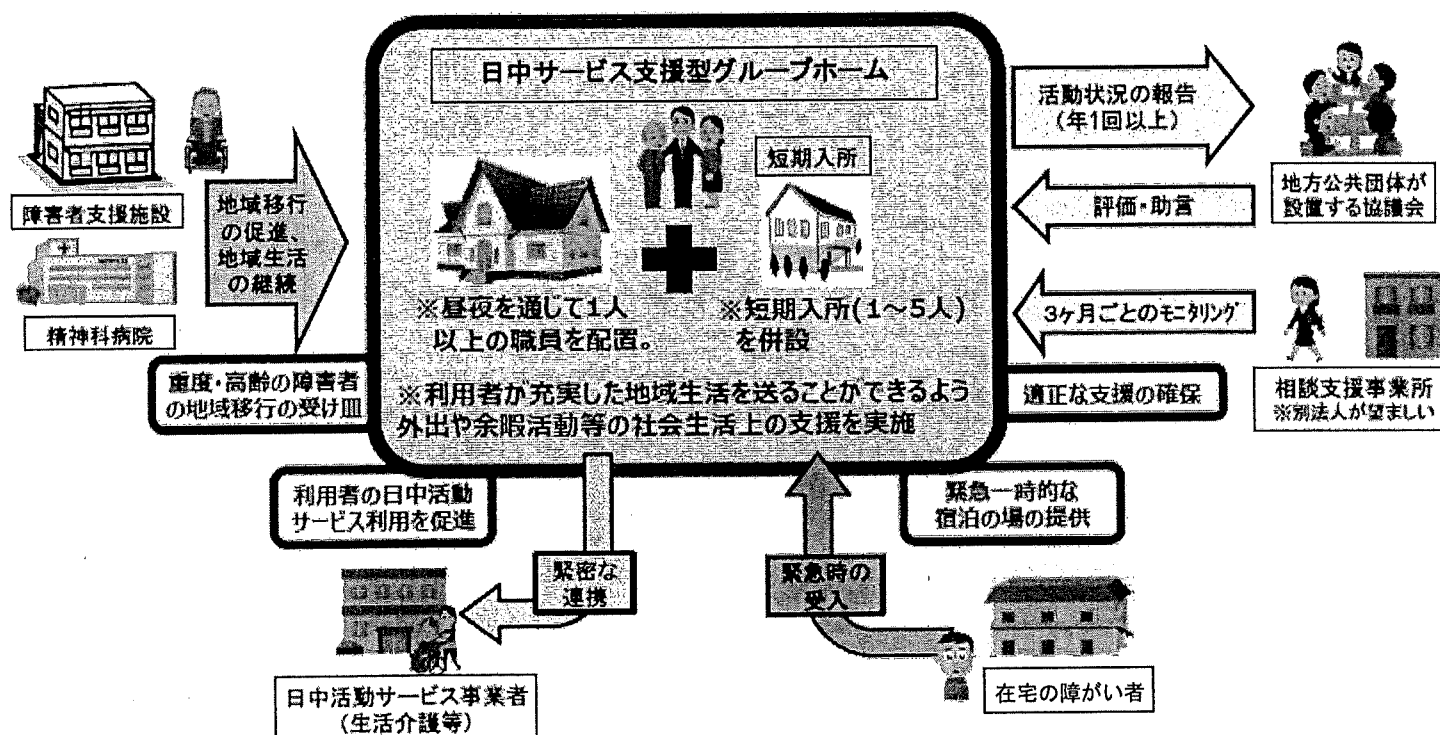
共同生活援助（グループホーム）とは

障がいのある方が地域住民との交流が確保される地域の中で、家庭的な雰囲気の下、共同生活を営む住まいの場

介護サービス包括型	日中サービス支援型	外部サービス利用型
当該事業所の従業者により介護サービスを提供	当該事業所の従業者により常時の介護サービスを提供	外部の居宅介護事業所に委託

日中サービス支援型グループホーム

障がい者の重度化、高齢化に対応するために創設された共同生活援助の類型であり、短期入所を併設し地域で生活する障がい者の緊急一時的な宿泊の場を提供することとしており、施設等からの地域移行の促進及び地域生活の継続等、地域生活支援の中核的な役割を担うことが期待される。



本協議会で評価を実施する根拠

障害者総合支援法第213条の10

6 日中サービス支援型指定共同生活援助事業者は、法第89条の3第1項に規定する協議会その他都道府県知事がこれに準ずるものとして特に認めるもの(以下「協議会等」という。)に対して定期的に日中サービス支援型指定共同生活援助の事業の実施状況及び第2項の報告、要望、助言等の内容又は前項の評価の結果等を報告し、協議会等による評価を受けるとともに、協議会等から必要な要望、助言等を聴く機会を設けなければならない。

評価の流れ

1. 事業所による説明および質疑応答（説明5分、質疑応答5分）
2. 委員による評価シートへの記入（協議会終了後に回収）
3. 事務局で評価シートをとりまとめ
4. 会長の承認
5. 事業所への結果通知

令和6年度報告・評価シート

【報告日 2024年 8月 8日】

【評価日 年 月 日】

項目	【事業所記入欄】											
1 施設概要	事業者名	ソーシャルインクルーホーム野田上花輪				日中						
	指定日	令和元年	9月	1日	世話人					生活支援員	3人	
	所在地	千葉県野田市上花輪1292-28				(常勤換算後)					(常勤換算後)	2.4人
	定員数 (共同生活援助)	10人				世話人					9人	3人
	定員数 (短期入所)	1人				(常勤換算後)					3.6	2.4人
	共同生活起居数	1戸				夜間						
	【住居の内訳】	【定員数の内訳】				世話人 (夜間)					生活支援員 (夜間)	2人
	ソーシャルインクルーホーム野田上花輪	10名				(常勤換算後)					7人	2人
	(指定短期入所)	1名				(常勤換算後)					1.3人	0.1人
		名										
2 利用者状況 (令和6年8月8日現在)	障害支援区分	人数				主な障害種別利用者人数 (重複はそれぞれ記入)						
	非該当	人				身体					総 数:	3人
	区分 1	人				主に日中GHで過ごす人数:					1人	
	区分 2	人				知的					総 数:	5人
	区分 3	2人				主に日中GHで過ごす人数:					0人	
	区分 4	3人				精神					総 数:	5人
	区分 5	3人				主に日中GHで過ごす人数:					2人	
	区分 6	2人				難病等					総 数:	1人
	合計	10人				主に日中GHで過ごす人数:					0人	

項目	【事業所記入欄】 具体的な内容	【市町村協議会等記入欄】 要望・助言・評価
3 利用者の主な日中の活動について	・GH内で主によいような日中サービスを提供しているか。 学習支援、買物支援(同行)、運動支援、入浴支援、季節のイベント、通院同行、昼食提供、訪問サービス利用(往診・散髪・看護・歯科)。相談支援(個別に)応じて、行動記録表を用いて、生活のフィードバックを行っている。 音楽配信(YouTube等)を活用したカラオケ、ウォーキング、TV体操。 個別支援計画の内容を十分共有したうえで各内容を実施しています。 ・外部の日中活動サービス等の利用人数及び内容について 前項「2 利用者状況」記載の利用者のうち、外部の日中活動サービスの利用者人数： 8人 あすなろ(2名)、こぶし園(1名・自社送迎)、COCORO(3名)、 ありがとりの花(2名)	
4 利用者に対する地域生活の支援状況について	・利用者に対して外出や余暇活動の支援に努めているか。 外出はまめバスを利用して外食、いちご狩り等を実施しました。ドラッグストア、書店等での買物、支払い等自分達で行いたいとの希望もあり利用者の希望やニーズに合わせたイベントを毎月実施しております。季節毎の行事はもちろんの事、毎月利用者と一緒に考えたイベントなども実施し喜ばれています。近隣の散策は利用者の要望が強く、天候に配慮しつつほぼ毎日実施しています。 ・体験的利用等のニーズに対応しているか。 (これまでの体験利用者の人数 2名) ご本人及びご家族から、入院療養よりも、通院治療を継続のうえ地域での生活を希望しているとのことで、体験入所を受け入れています。	
5 支援体制の確保について	・日中・土日を含めた常時の支援体制が確保されているか 日中、土日に関しても常に2～3の人員配置を行っています。有資格者3名(介護福祉士・精神保健福祉士・社会福祉士各1名)が在籍しています。緊急時にもすぐに職員が対応できる様、体制を整えています。	

項目	【事業所記入欄】 具体的な内容	【市町村協議会等記入欄】 要望・助言・評価						
6 地域に開かれた運営について	・家族や地域住民との交流の機会が確保されているか。 ご家族がいつでも来訪できるよう、常に連絡を取り近況報告を行っています。近隣住民近隣中学校のバザーに参加し、地域の方々と一緒に楽しんでいます。近隣住民の方へ回覧板を回す時や散歩の際は挨拶をしたりと、良好な関係を築いています。今後も自治会、町内会などの行事には積極的に参加できる様に考えています。 <table><tr><td colspan="2">・実習生やボランティアを積極的に受け入れているか。</td></tr><tr><td>受け入れ人数</td><td>実 習 生： 0 人</td></tr><tr><td></td><td>ボランティア： 0 人</td></tr></table> 実習生やボランティアの受け入れは、福祉関係の学校に働きかけ、受け入れをしていきたいと思っています。	・実習生やボランティアを積極的に受け入れているか。		受け入れ人数	実 習 生： 0 人		ボランティア： 0 人	
・実習生やボランティアを積極的に受け入れているか。								
受け入れ人数	実 習 生： 0 人							
	ボランティア： 0 人							
7 短期入所の併設について	・地域で生活する障害のある方を積極的に受け入れているか。 建物の構造上、女性の短期入所のみとなっておりますが現在積極的に受け入れを行っています。GH連絡協議会「見学視察会」でチラシを配布させて頂き、チラシを見た方からの問い合わせも何件もあり、見学を実施致しました。 ・緊急・一時的な支援等の受け入れに対応しているか。 緊急時受け入れも、今年は女性1名一週間程度受け入れし、他のGHに本入居をつなげることができました。常に受け入れ態勢は整備できており、ご家族の状況やご本人の取り巻く環境の変化による一時的な受け入れに対応していきたいと思っております。							
8 相談支援事業者や他のサービス事業所との連携状況について	相談支援事業所と常に連絡を取っており、情報共有を行っています。当ホームからご本人の状況の変化等報告を事業所に対して行っており、相談もさせて頂いています。月1回ご家族に連絡を取り、ホームでの様子をお伝えしております。また、日中活動を利用している方は連絡帳を活用し、体調・通院状況・服薬情報等の情報共有も行っております。							

項目	【事業所記入欄】 具体的な内容	【市町村協議会等記入欄】 要望・助言・評価																																	
9-1 設立目的・運営方針 ※項目1補足	【設立目的】 「ここでくらしたい」を創る ご利用者様にとってグループホームはまさに家そのものだといえます。家族のように温かいスタッフたちとのコミュニケーションを通してホームでの暮らしを楽しんでいただきたいです。「ここでくらしたい」と思ってもらえるよう日々真摯に向き合い続けます。 【運営方針】 入居者様それぞれの特性を理解し、安心して心地よく暮らしていただくために寄り添った支援を行います。職員全員が協力し合い、一人ひとりを尊重した、温かいコミュニケーションに溢れる職場を実現します。職員一同ホーム運営に積極的に関わり、より良い支援を行うために一人ひとりが率先して行動します。物事にプラス思考で向き合い、ソーシャルインクルーに関わる人たちの幸せを目指します。「“あたりまえ”を大切にすることが入居者様の幸せに繋がる」ことを胸に日々真摯に向き合います。																																		
9-2 職員の研修体制 ※項目1補足	<table border="1"> <thead> <tr> <th>研修の種類</th><th>実施有無</th><th>受講人数</th></tr> </thead> <tbody> <tr> <td>強度行動障がいのある人の支援に関する研修</td><td>有</td><td>1人</td></tr> <tr> <td>精神障がいのある人の支援に関する研修</td><td>有</td><td>3人</td></tr> <tr> <td>医療的ケアのある人の支援に関する研修</td><td>有</td><td>2人</td></tr> <tr> <td>その他重度障がいのある人の支援に関する研修</td><td>無</td><td>0人</td></tr> <tr> <td>虐待防止・差別解消（権利擁護）に関する研修</td><td>有</td><td>13人</td></tr> <tr> <td>食中毒・感染症に関する研修</td><td>有</td><td>13人</td></tr> <tr> <td>緊急対応に関する研修</td><td>有</td><td>13人</td></tr> <tr> <td>障がい特性に関する研修</td><td>有</td><td>13人</td></tr> <tr> <td>誤薬防止、誤薬に伴うリスクに関する研修</td><td>有</td><td>13人</td></tr> <tr> <td>ハラスメントに関する研修</td><td>有</td><td>13人</td></tr> </tbody> </table>	研修の種類	実施有無	受講人数	強度行動障がいのある人の支援に関する研修	有	1人	精神障がいのある人の支援に関する研修	有	3人	医療的ケアのある人の支援に関する研修	有	2人	その他重度障がいのある人の支援に関する研修	無	0人	虐待防止・差別解消（権利擁護）に関する研修	有	13人	食中毒・感染症に関する研修	有	13人	緊急対応に関する研修	有	13人	障がい特性に関する研修	有	13人	誤薬防止、誤薬に伴うリスクに関する研修	有	13人	ハラスメントに関する研修	有	13人	
研修の種類	実施有無	受講人数																																	
強度行動障がいのある人の支援に関する研修	有	1人																																	
精神障がいのある人の支援に関する研修	有	3人																																	
医療的ケアのある人の支援に関する研修	有	2人																																	
その他重度障がいのある人の支援に関する研修	無	0人																																	
虐待防止・差別解消（権利擁護）に関する研修	有	13人																																	
食中毒・感染症に関する研修	有	13人																																	
緊急対応に関する研修	有	13人																																	
障がい特性に関する研修	有	13人																																	
誤薬防止、誤薬に伴うリスクに関する研修	有	13人																																	
ハラスメントに関する研修	有	13人																																	

項目	【事業所記入欄】 具体的な内容				【市町村協議会等記入欄】 要望・助言・評価			
9-3 野田市援護者数 ※項目2補足	野田市援護者数		3人 (男性 2人・女性 1人)					
	市外援護者数 (県内)		3人 (男性 1人・女性 2人)					
	市外援護者数 (県外)		4人 (男性 2人・女性 2人)					
	(利用者の援護地について、野田市援護者、市外援護者 (千葉県内又は千葉県外) の別で記入)							
9-4 利用者の詳細 ※項目2補足	障がい種別	年齢	支援区分	日中活動	土日帰宅			
	知的・精神	25	4	有	無			
	知的・身体	50	6	有	無			
	精神	63	4	無	無			
	精神	39	4	有	無			
	知的	26	5	有	無			
	身体	59	5	有	無			
	精神・身体	49	6	無	無			
	難病・知的	64	3	有	無			
	知的	60	5	有	無			
	精神	60	3	有	無			

令和6年度報告・評価シート

【報告日 2024年 8月 23日】
【評価日 年 月 日】

項目	【事業所記入欄】									
1 施設概要	事業者名	ソーシャルインクルーホーム野田尾崎				日中				
	指定日	令和4年	7月	1日	世話人 19人 生活支援員 6人					
	所在地	千葉県野田市尾崎708-1				(常勤換算後) (常勤換算後) 4.1人				
	定員数 (共同生活援助)	20人				夜間				
	定員数 (短期入所)	2人				世話人 (夜間) 16人 生活支援員 (夜間) 3人				
	共同生活住居数	1戸				(常勤換算後) (常勤換算後) 0.4人				
	【住居の内訳】					【定員数の内訳】				
	野田尾崎1階(男性)					10名				
	野田尾崎2階(女性)					10名				
	(指定短期入所)					男女各1名				
2 利用者状況 (令和6年8月23日現在)	障害支援区分	人数				主な障害種別利用者人数 (重複はそれぞれ記入)				
	非該当	0人				身体	総数:	3人		
	区分1	0人					主に日中GHで過ごす人数:	1人		
	区分2	0人				知的	総数:	10人		
	区分3	3人					主に日中GHで過ごす人数:	0人		
	区分4	10人				精神	総数:	13人		
	区分5	5人					主に日中GHで過ごす人数:	5人		
	区分6	2人				難病等	総数:	1人		
	合計	20人					主に日中GHで過ごす人数:	1人		

項目	【事業所記入欄】 具体的な内容	【市町村協議会等記入欄】 要望・助言・評価
3 利用者の主な日中の活動について	・GH内で主によいような日中サービスを提供しているか。 ・通院介助(定期受診・緊急受診) ・買い物支援(同行・代行) ・運動支援(廊下往復、ストレッツ、ラジオ体操) ・余暇を過ごす資料の提供(学習プリント・塗り絵等)等 ・オセロやトランプ等 ・話し相手 ・映画(ビデオ)鑑賞 ・外部の日中活動サービス等の利用人数及び内容について 前項「2 利用者状況」記載の利用者のうち、外部の日中活動サービスの利用者人数： 12人 内訳：あすなろ2人 こぶし園2人 ありがとうの花1人 えーる1人 ほのか2人 みやび1人 ハナファイ3人 COCORO1人 ※2事業所利用している入居者様がいるため利用人数と異なります	
4 利用者に対する地域生活の支援状況について	・利用者に対して外出や余暇活動の支援に努めているか。 買い物同行、散歩等行っています。 訪問看護ステーションと連携し、看護師同行での買い物、散歩を行っています。 引き続き移動支援事業所との契約締結をサポートし新たに移動支援を利用する利用者様が増えました。 ・体験的利用等のニーズに対応しているか。 昨年末から満床になっており、以降体験入所の受け入れを見合わせました。 退院後ご自宅で過ごすことが難しい方は相談支援事業所に尽力いただき短期入所という形でご利用いただいています。	
5 支援体制の確保について	・日中・土日を含めた常時の支援体制が確保されているか 日中・土日に関しても、日勤4名・夜勤4名の人員配置を実施しています。	

項目	【事業所記入欄】 具体的な内容	【市町村協議会等記入欄】 要望・助言・評価						
6 地域に開かれた運営について	・家族や地域住民との交流の機会が確保されているか。 今年度から町内会に加入させていただきました。 地域や近隣の学校、市の行事に参加できよう計画していきたいと考えています。 ・実習生やボランティアを積極的に受け入れているか。 <table border="1" data-bbox="502 896 598 1798"> <tr> <td>受け入れ人数</td><td>実 習 生：</td><td>0人</td></tr> <tr> <td></td><td>ボランティア：</td><td>0人</td></tr> </table> 実習生やボランティアの受け入れは、福祉関係の学校に働きかけ、受け入れをしていきたいと思っています。	受け入れ人数	実 習 生：	0人		ボランティア：	0人	
受け入れ人数	実 習 生：	0人						
	ボランティア：	0人						
7 短期入所の併設について	・地域で生活する障害のある方を積極的に受け入れているか。 野田市1名(この他、将来的にGH利用を考慮しておられる方で練習の為に短期入所を繰り返し行う利用を準備中です) ・緊急・一時的な支援等の受け入れに対応しているか。 短期入所を通して本入居へ繋がっています。県外の方でしたが補導され自宅に帰れない方の緊急案件に対応、他ホームへの本入居に繋がりました。今後も積極的に対応していきます。							
8 相談支援事業者や他のサービス事業所との連携状況について	受診・訪問診療・訪問歯科・訪問看護ステーションとの医療に関する情報を相談事業所担当に最低一か月に一度状況をご報告しています。また問題や困り事を常にご相談させていただいています。 日中活動先との連絡帳での情報共有、特に行動障害のある方については毎月通所先に訪問し本人を含めての担当者会議を行っています。							

項目	【事業所記入欄】 具体的な内容	【市町村協議会等記入欄】 要望・助言・評価																																										
9-1 設立目的・運営方針 ※項目1補足	【設立目的】弊社はこれまで介護包括型でGH運営を行ってまいりました。がより緊急性の高い利用者様・より重度の利用者様の受け入れに関して職員配置と人件費の問題があり一歩進んだ問題の支援に対して踏み込めない状況でありました。日中サービス支援型で事業運営させていただくことで今まで受け入れが難しかった日中活動先がない方、日中活動が困難な方の受け入れを進めてまいります。 【運営方針】住まいで困っている障がい者が「0」の社会を創る。障がい者の住まいのインフラとなる。障がい者が日本のどこでも自立を目指す環境を創る。どこでも同じという安心のソーシャルインクルー品質を確立する。																																											
9-2 職員の研修体制 ※項目1補足	<table border="1"> <thead> <tr> <th>研修の種類</th> <th>実施有無</th> <th>受講人数</th> </tr> </thead> <tbody> <tr> <td>強度行動障がいのある人の支援に関する研修</td> <td>無</td> <td>人</td> </tr> <tr> <td>精神障がいのある人の支援に関する研修</td> <td>外部</td> <td>2人</td> </tr> <tr> <td>医療的ケアのある人の支援に関する研修</td> <td>無</td> <td>人</td> </tr> <tr> <td>その他重度障がいのある人の支援に関する研修</td> <td>外部</td> <td>1人</td> </tr> <tr> <td>虐待防止・差別解消（権利擁護）に関する研修</td> <td>有</td> <td>25人</td> </tr> <tr> <td>食中毒・感染症に関する研修</td> <td>有</td> <td>25人</td> </tr> <tr> <td>避難訓練(火災・日中想定・夜間想定)</td> <td>有</td> <td>25人</td> </tr> <tr> <td>緊急対応</td> <td>有</td> <td>25人</td> </tr> <tr> <td>権利擁護・接遇マナー</td> <td>有</td> <td>25人</td> </tr> <tr> <td>誤薬防止</td> <td>有</td> <td>25人</td> </tr> <tr> <td>災害訓練(BPC・水害・地震)</td> <td>有</td> <td>25人</td> </tr> <tr> <td>身体拘束適正化</td> <td>有</td> <td>25人</td> </tr> <tr> <td>事業理念の共有(適切な支援について考える)</td> <td>有</td> <td>25人</td> </tr> </tbody> </table>	研修の種類	実施有無	受講人数	強度行動障がいのある人の支援に関する研修	無	人	精神障がいのある人の支援に関する研修	外部	2人	医療的ケアのある人の支援に関する研修	無	人	その他重度障がいのある人の支援に関する研修	外部	1人	虐待防止・差別解消（権利擁護）に関する研修	有	25人	食中毒・感染症に関する研修	有	25人	避難訓練(火災・日中想定・夜間想定)	有	25人	緊急対応	有	25人	権利擁護・接遇マナー	有	25人	誤薬防止	有	25人	災害訓練(BPC・水害・地震)	有	25人	身体拘束適正化	有	25人	事業理念の共有(適切な支援について考える)	有	25人	
研修の種類	実施有無	受講人数																																										
強度行動障がいのある人の支援に関する研修	無	人																																										
精神障がいのある人の支援に関する研修	外部	2人																																										
医療的ケアのある人の支援に関する研修	無	人																																										
その他重度障がいのある人の支援に関する研修	外部	1人																																										
虐待防止・差別解消（権利擁護）に関する研修	有	25人																																										
食中毒・感染症に関する研修	有	25人																																										
避難訓練(火災・日中想定・夜間想定)	有	25人																																										
緊急対応	有	25人																																										
権利擁護・接遇マナー	有	25人																																										
誤薬防止	有	25人																																										
災害訓練(BPC・水害・地震)	有	25人																																										
身体拘束適正化	有	25人																																										
事業理念の共有(適切な支援について考える)	有	25人																																										

項目	【事業所記入欄】 具体的な内容				【市町村協議会等記入欄】 要望・助言・評価	
9-3 野田市援護者数 ※項目2補足	野田市援護者数		9人(男性	3人・女性	6人)	
	市外援護者数(県内)		4人(男性	1人・女性	3人)	
	市外援護者数(県外)		7人(男性	6人・女性	1人)	
	(利用者の援護地について、野田市援護者、市外援護者(千葉県内又は千葉県県外)の別で記入					
9-4 利用者の詳細 ※項目2補足	障がい種別	年齢	支援区分	日中活動	土日帰宅	
	知的	25	4	有	無	
	精神	62	3	無	無	
	知的	37	4	有	無	
	知的	52	5	有	無	
	精神	72	4	無	無	
	精神	56	3	無	無	
	身体・精神	36	4	一般就労	無	
	知的・精神	32	5	有	無	
	知的・精神	68	4	有	無	
	身体	63	4	無	無	
	知的・精神	22	4	有	無	
	精神	64	3	有	無	
	精神	48	4	無	無	
	知的・精神	47	5	有	無	
	身体・精神	51	6	有	無	
	知的・精神	40	4	有	無	
	難病	50	4	無	無	
	知的	41	5	有	有	
	精神	48	5	無	無	
	知的	43	6	有	無	

令和6年度報告・評価シート

【報告日 令和6年8月 日】

【評価日 令和 年 月 日】

項目	【事業所記入欄】										
1 施設概要	事業者名	グループホームほっと				日中					
	指定日	令和5年	4月	1日	世話人					生活支援員	
	所在地	千葉県野田市船形308-1				15人					13人
	定員数（共同生活援助）	14人				(常勤換算後)					(常勤換算後)
	定員数（短期入所）	3人				4.56人					5.07人
	共同生活住居数	2戸				夜間					
	【住居の内訳】	【定員数の内訳】				世話人（夜間）					生活支援員（夜間）
	グループホームほっと	6名				6人					7人
	東安根本ホーム	8名				(常勤換算後)					(常勤換算後)
	短期入所	3名				2人					2人
2 利用者状況 (令和 年 月 日 現在)	障害支援区分	人数				主な障害種別利用者人数（重複はそれぞれ記入）					
	非該当	人				身体	総数：	主に日中GHで過ごす人数：			2人
	区分1	人				知的	総数：	主に日中GHで過ごす人数：			14人
	区分2	人				精神	総数：	主に日中GHで過ごす人数：			人
	区分3	人				難病等	総数：	主に日中GHで過ごす人数：			人
	区分4	人									
	区分5	5人									
	区分6	9人									
	合計	14人									

項目	【事業所記入欄】 具体的な内容	【市町村協議会等記入欄】 要望・助言・評価
3 利用者の主な日中の活動について	・GH内で主になような日中サービスを提供しているか。 昼食提供、散髪、余暇サービスなど（散髪、DVDレンタル付添、買い物、散歩、地域イベント参加など） ・外部の日中活動サービス等の利用人数及び内容について 前項「2 利用者状況」記載の利用者のうち、外部の日中活動サービスの利用者人数： 14人 生活介護、放課後デイサービス、行動援護、一般就労	
4 利用者に対する地域生活の支援状況について	・利用者に対して外出や余暇活動の支援に努めているか。 散髪、DVDレンタル付添、買い物、散歩、地域イベント参加（産業祭、ふれあいハートまつり、元氣アップフェスタ、福田公民館七夕コンサート） ・体験的利用等のニーズに対応しているか。 8人 GH利用日数の段階的増加 (2泊3日→3泊4日→平日GH、祝日自宅など) 外部の日中活動サービスとの支援の連携 (生活介護事業所と同じ食事方法や排泄方法を般化したなど)	
5 支援体制の確保について	・日中・土日を含めた常時の支援体制が確保されているか 各住居に1名以上を配置	

項目	【事業所記入欄】 具体的な内容	【市町村協議会等記入欄】 要望・助言・評価				
6 地域に開かれた運営について	・家族や地域住民との交流の機会が確保されているか。 家族、年3回程度家族会を開催し、GH内の変更点等の説明を実施。地域連携推進会議により、地元有識者の招待を検討中。 ・実習生やボランティアを積極的に受け入れているか。 <table border="1" data-bbox="501 896 592 1800"> <tr> <td data-bbox="501 1456 544 1800">受け入れ人数</td> <td data-bbox="501 896 544 1456">実 習 生： 0 人</td> </tr> <tr> <td data-bbox="544 1456 592 1800"></td> <td data-bbox="544 896 592 1456">ボランティア： 0 人</td> </tr> </table> 実習生・ボランティア・見学者等、随時募集をしている。	受け入れ人数	実 習 生： 0 人		ボランティア： 0 人	
受け入れ人数	実 習 生： 0 人					
	ボランティア： 0 人					
7 短期入所の併設について	・地域で生活する障害のある方を積極的に受け入れているか。 新型コロナウイルスの密を避ける点と、入居者の支援がスムーズに進んでいない点（食事支援と性教育に課題がある利用者1名は月1度の利用）の取り組みを優先し、積極的に受け入れていない。今後、GHに入居する生活スキルを高める場として、活用する予定。 ・緊急・一時的な支援等の受け入れに対応しているか。 自宅で過ごすことが困難な生活介護の利用者1名に、環境を設定し緊急的な受け入れ対応をしようとしたが、その後利用者1名が措置入院・退所したため実施せず。今後も、緊急・一時的な支援等の受け入れは、随時対応していく。					
8 相談支援事業者や他のサービス事業所との連携状況について	生活介護事業所の支援内容をGHへ般化させ、GHの課題に対して生活介護事業所で再構造化し取り組む事ができている。					

項目	【事業所記入欄】 具体的な内容	【市町村協議会等記入欄】 要望・助言・評価																											
9-1 設立目的・運営方針 ※項目1補足	【設立目的】 障害者総合支援法に基づき、利用者の意思及び人格を尊重し、利用者の立場に立った適切な共同生活援助の提供を確保する事を目的とする。 「自立して生活できる」ことから「24時間いつでも幸せな生活」へと変えていくことを目標とする。 【運営方針】 共同生活援助事業（グループホーム）は、知的障がいのある人たちが、地域において共同して自立した日常生活または社会生活が送れるよう、共同生活住居において相談その他の日常生活上の援助を行います。 グループホームの従業者は、利用者の意思及び人格を尊重し、常に利用者の立場に立って支援を行います。 グループホームにおける支援の実施にあたっては、地域との結び付きを重視し、関係市町村、他の施設及び事業所、地域の保健・医療・福祉サービスと連携を図り、総合的な支援に努めます。																												
9-2 職員の研修体制 ※項目1補足	<table><thead><tr><th>研修の種類</th><th>実施有無</th><th>受講人数</th></tr></thead><tbody><tr><td>強度行動障がいのある人の支援に関する研修</td><td>有・無</td><td>6人</td></tr><tr><td>精神障がいのある人の支援に関する研修</td><td>有・無</td><td>人</td></tr><tr><td>医療的ケアのある人の支援に関する研修</td><td>有・無</td><td>人</td></tr><tr><td>その他重度障がいのある人の支援に関する研修</td><td>有・無</td><td>人</td></tr><tr><td>虐待防止・差別解消（権利擁護）に関する研修</td><td>有・無</td><td>12人</td></tr><tr><td>※その他、法人で実施した研修があれば適宜追加</td><td>-</td><td>人</td></tr><tr><td></td><td>-</td><td>人</td></tr><tr><td></td><td>-</td><td>人</td></tr></tbody></table>	研修の種類	実施有無	受講人数	強度行動障がいのある人の支援に関する研修	有・無	6人	精神障がいのある人の支援に関する研修	有・無	人	医療的ケアのある人の支援に関する研修	有・無	人	その他重度障がいのある人の支援に関する研修	有・無	人	虐待防止・差別解消（権利擁護）に関する研修	有・無	12人	※その他、法人で実施した研修があれば適宜追加	-	人		-	人		-	人	
研修の種類	実施有無	受講人数																											
強度行動障がいのある人の支援に関する研修	有・無	6人																											
精神障がいのある人の支援に関する研修	有・無	人																											
医療的ケアのある人の支援に関する研修	有・無	人																											
その他重度障がいのある人の支援に関する研修	有・無	人																											
虐待防止・差別解消（権利擁護）に関する研修	有・無	12人																											
※その他、法人で実施した研修があれば適宜追加	-	人																											
	-	人																											
	-	人																											

項目	【事業所記入欄】 具体的な内容				【市町村協議会等記入欄】 要望・助言・評価							
9-3 野田市援護者数 ※項目2補足	野田市援護者数		14人 (男性 14人・女性 人)	人	(利用者の援護地について、野田市援護者、市外援護者 (千葉県内又は千葉県外) の別で記入							
	市外援護者数 (県内)		人 (男性 人・女性 人)	人								
	市外援護者数 (県外)		人 (男性 人・女性 人)	人								
9-4 利用者の詳細 ※項目2補足	障がい種別	年齢	支援区分	日中活動	土日帰宅							
	知的	49	5	有	無							
	知的	50	6	有	無							
	知的	40	5	有	有							
	知的	52	5	有	無							
	身体・知的	65	5	有	無							
	身体・知的	51	6	有	無							
	知的	23	6	有	有							
	知的	40	6	有	有							
	知的	31	6	有	有							
	知的	24	6	有	有							
	知的	33	6	有	有							
	知的	26	6	有	無							
	知的	31	5	有	有							
	知的	41	6	有	有							

令和6年度報告・評価シート

【報告日 令和6年9月9日】

【評価日 年 月 日】

項目	【事業所記入欄】									
1 施設概要	事業者名	ハーモニーホーム				日中				
	指定日	2023年	10月	1日	世話人 生活支援員					
	所在地	野田市鶴奉84番地の16				(他事業所兼務)30人				
	定員数 (共同生活援助)	16人				(常勤換算後)				
	定員数 (短期入所)	5人				3.8人				
	共同生活起居数	1戸				夜間				
	【住居の内訳】	【定員数の内訳】				世話人 (夜間) 生活支援員 (夜間)				
	【男性棟 (西棟)】	西棟 共同8、短期2名				7人 (他事業所兼務)30人				
	【女性棟 (東棟)】	東棟 共同8、短期3名				(常勤換算後)				
						1.6人 3.2人				
2 利用者状況 (令和6年8月9日現在)	障害支援区分	人数				主な障害種別利用者人数 (重複はそれぞれ記入)				
	非該当	人				身体	総数:	11人		
	区分1	人				主に日中GHで過ごす人数: 0人				
	区分2	人				知的	総数:	13人		
	区分3	人				主に日中GHで過ごす人数: 0人				
	区分4	人				精神	総数:	人		
	区分5	6人				主に日中GHで過ごす人数: 人				
	区分6	10人				難病等	総数:	人		
	合計	16人				主に日中GHで過ごす人数: 人				

項目	【事業所記入欄】 具体的な内容	【市町村協議会等記入欄】 要望・助言・評価
3 利用者の主な日中の活動について	・GH内で主によいような日中サービスを提供しているか。 ・本人のご希望に沿う、または配慮して過ごしリラックスして過ごせるように心がけています。手芸(刺繍等)、テレビ・音楽・映画鑑賞、文字書き、折り紙、創作活動(壁面創作等)、買い物、散歩等。その他、ご家族様と外出や通院等。必要な支援は、排泄介助、食事支援、移動支援等。 ・外部の日中活動サービス等の利用人数及び内容について 前項「2 利用者状況」記載の利用者のうち、外部の日中活動サービスの利用者人数： 16人 (主な外部の日中活動サービスの種類について) ・生活介護、就労継続支援B型、一時支援	
4 利用者に対する地域生活の支援状況について	・利用者に対して外出や余暇活動の支援に努めているか。 ・訪問歯科、訪問リハビリ、訪問美容を利用(希望者)。 ・自治会で案内のあった夏祭りに参加等(希望者)。 ・散歩、買い物等(希望者)。 ・他事業所の一時支援事業を(土)利用(希望者)。 ・体験の利用等のニーズに対応しているか。 (これまでの体験利用者の人数) 実績なし (体験利用の事例について) 実績なし	
5 支援体制の確保について	・日中・土日を含めた常時の支援体制が確保されているか 男性棟(西棟)は、全員が週末自宅帰省の為、現状に合わせて週末は常時配置はせず、必要時のみ配置とさせていただきます。女性棟(東棟)は常時配置をしています。	

項目	【事業所記入欄】 具体的な内容	【市町村協議会等記入欄】 要望・助言・評価				
6 地域に開かれた運営について	・家族や地域住民との交流の機会が確保されているか。 ・自治会で案内のあった夏祭りに参加等(希望者)。 ・家族懇談会を開催(出席希望者)。今後、年1回または必要時都度開催予定。懇談会という形にとらわれず、いつでも立ち寄っていただけるようにしています。 ・実習生やボランティアを積極的に受け入れているか。 <table border="1"> <tr> <td>受け入れ人数</td> <td>実 習 生： 0 人</td> </tr> <tr> <td></td> <td>ボランティア： 0 人</td> </tr> </table> 実績なし。ご希望があれば積極的に受け入れをしていきたいと思ひます。	受け入れ人数	実 習 生： 0 人		ボランティア： 0 人	
受け入れ人数	実 習 生： 0 人					
	ボランティア： 0 人					
7 短期入所の併設について	・地域で生活する障害のある方を積極的に受け入れているか。 実績あり。支援できる範囲で積極的に受け入れをしていきたいと思ひます。 ・緊急・一時的な支援等の受け入れに対応しているか。 実績なし。緊急事案については、支援できる範囲を検討して対応していきたいと思ひます。					
8 相談支援事業者や他のサービス事業所の連携状況について	・65歳を迎える方、迎えた方の支援について担当者会議を実施、意向確認。介護保険サービスへの移行や併用を検討。その後、ご家族、ご本人の希望により、訪問リハビリサービス事業所とケアマネ、保護者様との打ち合わせ実施。契約後、サービス提供開始。					

項目	【事業所記入欄】 具体的な内容	【市町村協議会等記入欄】 要望・助言・評価																											
9-1 設立目的・運営方針 ※項目1補足	【設立目的】 野田みどり会の障がい福祉サービスをご利用されているご利用者様の保護者より「親も高齢になってきて本人の介護負担に限界を感じ始めているとともに、親亡き後の我が子の生活に不安を抱えている」等の相談が増えた現状です。これを踏まえ、法人としてご利用者様を始め、地域の障がいのある人が親亡き後も住み慣れた地域で自立した生活ができるよう、住まいの場を提供すると共に、障がいのある人が安心して地域生活を営むことができる地域作りをするこを目的とし設立しました。 【運営方針】 ・ 障害者の日常生活及び社会生活を総合的に支援するための法律に基づく「共同生活援助事業運営規程」を遵守し、かつ、社会福祉法人野田みどり会の理念「すべての人の幸せに」を基に、次のことを基本として事業を運営していく方針です。 ①利用者が地域において共同して自立した日常生活又は社会生活を営むことができるよう、常時の支援体制を確保し、当該利用者様の身体及び精神の状況並びにその置かれている環境に応じて、相談、入浴、排泄、食事等の介護、その他の日常生活上の支援又は援助を適切かつ効果的に行います。 ②地域との結び付きを重視し、関係市町村、他の指定障がい福祉サービス事業者その他の保健医療サービス又は福祉サービスを提供する者との密接な連携に努めます。 ③事業等の人員、設備及び運営に関する基準等を定める条例及び関係法令等を遵守し、事業を実施いたします。																												
9-2 職員の研修体制 ※項目1補足	<table border="1"> <thead> <tr> <th>研修の種類</th><th>実施有無</th><th>受講人数</th></tr> </thead> <tbody> <tr> <td>強度行動障がいのある人の支援に関する研修</td><td>有・無</td><td>2人</td></tr> <tr> <td>虐待防止・差別解消（権利擁護）に関する研修</td><td>有・無</td><td>8人</td></tr> <tr> <td>倫理及び法令遵守に関する研修</td><td>有・無</td><td>1人</td></tr> <tr> <td>感染症・食中毒の予防及び蔓延防止に関する研修</td><td>有・無</td><td>1人</td></tr> <tr> <td>虐待防止及び身体拘束に関する研修</td><td>有・無</td><td>1人</td></tr> <tr> <td>非常災害時の対応についての研修</td><td>有・無</td><td>1人</td></tr> <tr> <td>安全運転講習会</td><td>有・無</td><td>1人</td></tr> <tr> <td>介護保険制度、高齢障害者の支援に関する研修</td><td>有・無</td><td>2人</td></tr> </tbody> </table>	研修の種類	実施有無	受講人数	強度行動障がいのある人の支援に関する研修	有・無	2人	虐待防止・差別解消（権利擁護）に関する研修	有・無	8人	倫理及び法令遵守に関する研修	有・無	1人	感染症・食中毒の予防及び蔓延防止に関する研修	有・無	1人	虐待防止及び身体拘束に関する研修	有・無	1人	非常災害時の対応についての研修	有・無	1人	安全運転講習会	有・無	1人	介護保険制度、高齢障害者の支援に関する研修	有・無	2人	
研修の種類	実施有無	受講人数																											
強度行動障がいのある人の支援に関する研修	有・無	2人																											
虐待防止・差別解消（権利擁護）に関する研修	有・無	8人																											
倫理及び法令遵守に関する研修	有・無	1人																											
感染症・食中毒の予防及び蔓延防止に関する研修	有・無	1人																											
虐待防止及び身体拘束に関する研修	有・無	1人																											
非常災害時の対応についての研修	有・無	1人																											
安全運転講習会	有・無	1人																											
介護保険制度、高齢障害者の支援に関する研修	有・無	2人																											

項目	【事業所記入欄】 具体的な内容			【市町村協議会等記入欄】 要望・助言・評価		
9-3 野田市援護者数 ※項目2補足	野田市援護者数	16人 (男性 8人・女性 8人)				
	市外援護者数 (県内)	人 (男性 人・女性 人)				
	市外援護者数 (県外)	人 (男性 人・女性 人)				
	(利用者の援護地について、野田市援護者、市外援護者 (千葉県内又は千葉県外) の別で記入					
9-4 利用者の詳細 ※項目2補足	障がい種別	年齢	支援区分	日中活動	土日帰宅	
	身体	40	6	有	有	
	身体・知的	41	6	有	有	
	身体・知的	21	6	有	有	
	知的	49	6	有	有	
	身体・知的	37	6	有	有	
	身体・知的	42	6	有	有	
	身体・知的	36	6	有	有	
	身体・知的	40	6	有	無	
	身体・知的	38	6	有	有	
	知的	65	6	有	無	
	身体	65	5	有	無	
	知的	43	5	有	有	
	知的	46	5	有	有	
知的	44	5	有	有		
身体・知的	40	5	有	有		
身体	60	5	有	有		

令和6年度報告・評価シート

【報告日 年 月 日】
【評価日 年 月 日】

項目	【事業所記入欄】									
	事業者名	令和5年	11月	1日	AMANEKU野田中里	人員配置				日中
1 施設概要	指定日								世話人	生活支援員
	所在地								25人	7人
	定員数 (共同生活援助)								(常勤換算後)	(常勤換算後)
	定員数 (短期入所)								7.96人	4.26人
	共同生活住居数									
									夜間	
									世話人 (夜間)	生活支援員 (夜間)
2 利用者状況 (令和6年8月16日現在)	AMANEKU野田中里1階 (男性)								18人	人
	AMANEKU野田中里2階 (女性)								(常勤換算後)	(常勤換算後)
	短期入所								3.12人	人
	障害支援区分								主な障害種別利用者人数 (重複はそれぞれ記入)	
	非該当								総数:	11人
	区分1								主に日中GHで過ごす人数:	
	区分2								総数:	3人
	区分3								主に日中GHで過ごす人数:	9人
	区分4								総数:	1人
	区分5								主に日中GHで過ごす人数:	7人
区分6								総数:	6人	
合計								総数:	人	
								主に日中GHで過ごす人数:	人	

項目	【事業所記入欄】 具体的な内容	【市町村協議会等記入欄】 要望・助言・評価
3 利用者の主な日中の活動について	・GH内で主によいような日中サービスを提供しているか。 身体障がいの方に対して、歩行訓練の支援・見守りなどを行ったり、食事や入浴、排せつの介助等も行っております。 行政やその他必要な手続きの支援なども行っております。 ・外部の日中活動サービス等の利用人数及び内容について 前項「2 利用者状況」記載の利用者のうち、外部の日中活動サービスの利用者人数： 10人 生活介護等	
4 利用者に対する地域生活の支援状況について	・利用者に対して外出や余暇活動の支援に努めているか。 ドライブや散歩等の日常の日中サービスや、DVD鑑賞や外食レクリエーションなどの月一のイベント行事を行っております。 ・体験の利用等のニーズに対応しているか。 (これまでの体験利用者の人数) 63人 弊社では、食費や光熱費などにもかからない2泊3日の無料体験を行っております。とても好評をいただいております、たくさん体験のお申込みを頂いております。	
5 支援体制の確保について	・日中・土日を含めた常時の支援体制が確保されているか 当社のグループホームでは、各フロア常時2名体制が取れるよう、人員配置を行っております。日中、他の日中活動サービスをご利用されない利用者様にも支援ができるよう、24時間どの時間でも各フロア2名以上の体制で支援を行っております。土日・祝日なども同様の体制を確保しております。	

項目	【事業所記入欄】 具体的な内容	【市町村協議会等記入欄】 要望・助言・評価				
6 地域に開かれた 運営について	・家族や地域住民との交流の機会が確保されているか。 スーパーの移動販売をAMANEKU野田中里の駐車場に来ていただいたことができ、そこで買い物をしたり、近隣の公園に行きお花見などを行うことがあります。今後、近隣で開催されるイベント行事に積極的に参加していきます。 <table><tr><td colspan="2">・実習生やボランティアを積極的に受け入れているか。</td></tr><tr><td>受け入れ人数</td><td>実 習 生： 0人 ボランティア： 0人</td></tr></table> 今後、ボランティアの受け入れを検討しております。	・実習生やボランティアを積極的に受け入れているか。		受け入れ人数	実 習 生： 0人 ボランティア： 0人	
・実習生やボランティアを積極的に受け入れているか。						
受け入れ人数	実 習 生： 0人 ボランティア： 0人					
7 短期入所の併設に ついて	・地域で生活する障害のある方を積極的に受け入れているか。 令和6年8月16日時点で8回ほどの受け入れを行っており、継続的に短期入所をご利用いただく方もいる。 ・緊急・一時的な支援等の受け入れに対応しているか。 依頼があれば、積極的に受け入れをしていくことを検討していきます。					
8 相談支援事業者や 他のサービス事業所と の連携状況について	協力医療機関の野田病院を受診の際にはあまり待機することなく受診している。 通所先の生活介護事業所等と連携し、細かい情報も相談支援事業所と情報共有を行っています。相談支援事業所を通じて、移動支援などの働きかけをしております。					

項目	【事業所記入欄】 具体的な内容	【市町村協議会等記入欄】 要望・助言・評価
9-1 設立目的・運営方針 ※項目 1 補足	【設立目的】 当社は、障がいを持つ方々が地域社会で自立し、充実した生活を送ることを支援することを理念としています。これまでの運営経験を通じて、日中サービス支援が必要な障がい者の方々のニーズが急激に増加していることを実感しております。特に、日中の時間帯における適切な支援が不足している現状があり、これに対応するために新たなグループホームの開設が必要と考えました。 地域社会における障がい者支援の充実、障がいのある方々だけでなく、その家族や地域全体にとっても大きなメリットがあります。日中支援型グループホームを通じて、障がい者の方々が社会参加を図り、自己実現を目指すことができる環境を提供することは、社会的観点から重要です。 また、当社はこれまでに日中サービス支援型において蓄積したノウハウと経験を活かし、質の高いサービスを提供する自信があります。スタッフの専門性の向上、個々の利用者に合わせてきめ細かい支援計画の策定、地域社会との連携強化など、総合的なサポート体制を構築し、障がい者の方々がより良い生活を送れるようサポートすることが私たちの目標です。 このような背景から、新たなグループホームの開設による日中支援型サービスの提供は、地域における障がい者支援の質と量の両面での充実に寄与すると考え、本サービスの指定を希望するに至りました。私たちは、行政との連携を密にしながら、地域に根ざした質の高いサービスの提供に努めてまいります。 【運営方針】 「障がい」の有無に関わらず、全ての人が自分らしくあるために、豊かな暮らしを創造することを企業理念としております。 グループホームAMANERUの運営には障がいのある当事者も携わり、ホームごとに障がい特性や毎日の生活に配慮したコンセプト設定をしています。 支援体制はもちろんのこと、新築の建物には利便性の良い立地、ユニバーサルデザイン、心地よい動線など、様々なこだわりを加え、居住される方が自分らしい暮らしを送ることができるようにサポートします。 また、障害者の方が暮らしやすグループホームに特化した専門の建設チームを有し、社内での建設事業も行っております。	

項目	【事業所記入欄】 具体的な内容	【市町村協議会等記入欄】 要望・助言・評価	
9-2 職員の研修体制 ※項目1 補足	研修の種類	実施有無	受講人数
	強度行動障がいのある人の支援に関する研修	有	16人
	精神障がいのある人の支援に関する研修	有	14人
	医療的ケアのある人の支援に関する研修	無	人
	その他重度障がいのある人の支援に関する研修	有	16人
	虐待防止・差別解消（権利擁護）に関する研修	有	13人
	チーム力の向上に関する研修	有	15人
	支援力の向上に関する研修	有	14人
	感染症予防に関する研修	有	11人
	支援力の向上に関する研修②	有	14人
	支援力の向上に関する研修③	有	16人
	支援力の向上に関する研修④	有	16人
9-3 野田市援護者数 ※項目2 補足	コミュニケーションについての研修	有	17人
	野田市援護者数	9人（男性7人・女性2人）	
	市外援護者数（県内）	3人（男性0人・女性3人）	
	市外援護者数（県外） （利用者の援護地について、野田市援護者、市外援護者（千葉県内又は千葉県外）の別で記入	8人（男性3人・女性5人）	

項目	【事業所記入欄】 具体的な内容					【市町村協議会等記入欄】 要望・助言・評価	
	障がい種別	年齢	支援区分	日中活動	土日帰宅		
9-4 利用者の詳細 ※項目2補足	精神	50	3	無	無		
	身体・知的	37	5	有	有		
	知的	41	5	有	有		
	身体・知的	48	6	無	無		
	精神	50	3	無	無		
	身体・知的	69	5	有	無		
	身体・知的	19	6	有	無		
	精神	43	4	無	無		
	身体・知的	19	6	有	無		
	身体・知的	59	6	有	無		
	身体	61	5	有	無		
	知的	72	3	有	無		
	身体・知的・精神	23	6	有	無		
	身体	47	4	有	無		
	精神	28	6	無	無		
	精神	49	3	無	無		
身体	67	3	無	無			
身体	59	4	無	無			
精神	71	3	無	無			
知的	63	4	無	無			

令和6年度報告・評価シート

【報告日 2024年 8月 22日】

【評価日 年 月 日】

項目	【事業所記入欄】										
1 施設概要	事業者名	グループホームふわふわ野田上花輪				日中					
	指定日	令和3年	11月	1日	世話人					生活支援員	
	所在地	野田市上花輪新町38-1				7人					8人
	定員数（共同生活援助）	20人				(常勤換算後)					(常勤換算後)
	定員数（短期入所）	1人				3.6人					3.4人
	共同生活住居数	1戸				夜間					
	【住居の内訳】	【定員数の内訳】				世話人（夜間）					生活支援員（夜間）
	【ふわふわ野田上花輪A棟】	10名				3人					8人
	【ふわふわ野田上花輪B棟】	10名				(常勤換算後)					(常勤換算後)
	【ふわふわ野田上花輪 短期入所】	1名				0.5人					2.4人
2 利用者状況 (令和6年7月31日現在)	障害支援区分	人数				主な障害種別利用者人数（重複はそれぞれ記入）					
	非該当	人				身体	総数：	2人			
	区分1	人					主に日中GHで過ごす人数：	0人			
	区分2	人				知的	総数：	7人			
	区分3	人					主に日中GHで過ごす人数：	4人			
	区分4	2人				精神	総数：	4人			
	区分5	4人					主に日中GHで過ごす人数：	4人			
	区分6	6人				難病等	総数：	1人			
	合計	12人					主に日中GHで過ごす人数：	1人			

項目	【事業所記入欄】 具体的な内容	【市町村協議会等記入欄】 要望・助言・評価
3 利用者の主な日中の活動について	・GH内で主になような日中サービスを提供しているか。 生活全般（食事作り、提供。掃除、洗濯）入浴介助、排泄介助 ・外部の日中活動サービス等の利用人数及び内容について 前項「2 利用者状況」記載の利用者のうち、外部の日中活動サービスの利用者人数： 3人 生活介護、デイサービス	
4 利用者に対する地域生活の支援状況について	・利用者に対して外出や余暇活動の支援に努めているか。 近くのスーパーへ行き、買い物支援を行っている。 余暇として季節の行事を開催。 また、月に数回おやつ作りを支援員と一緒にやっている。 ・体験の利用等のニーズに対応しているか。 入居ご希望の方は、体験を行い利用者様・ご家族様のご要望とホームの受け入れが可能かお互いを確認し、ほぼ入居へ繋がっている。	
5 支援体制の確保について	・日中・土日を含めた常時の支援体制が確保されているか 日中（土日含む）1ユニット2～3名 夜勤1ユニット1名	

項目	【事業所記入欄】 具体的な内容	【市町村協議会等記入欄】 要望・助言・評価						
6 地域に開かれた運営について	・家族や地域住民との交流の機会が確保されているか。 現在は、交流の機会を設けられていないが、今後、交流の場を検討していきたい。 ・実習生やボランティアを積極的に受け入れているか。 <table><tr><td>受け入れ人数</td><td>実 習 生：</td><td>0人</td></tr><tr><td></td><td>ボランティア：</td><td>0人</td></tr></table> 今後、実習生やボランティアの受け入れを検討していきたい。	受け入れ人数	実 習 生：	0人		ボランティア：	0人	
受け入れ人数	実 習 生：	0人						
	ボランティア：	0人						
7 短期入所の併設について	・地域で生活する障害のある方を積極的に受け入れているか。 短期利用のご希望があった際、可能な限り受け入れている。 ・緊急・一時的な支援等の受け入れに対応しているか。 他のグループホームにて人間関係によるトラブルにて緊急対応にて2週間ほど受け入れを行った。 引き続き、積極的に受け入れていきたいと思います。							
8 相談支援事業者や他のサービス事業所の連携状況について	利用者様の様子を毎月電話等で、関係機関と相談や報告をしている。							

項目	【事業所記入欄】 具体的な内容	【市町村協議会等記入欄】 要望・助言・評価																								
9-1 設立的・運営方針 ※項目1補足	【設立的目的】日中サービス支援型は、地域での拠点整備という課題をクリアできる必要な社会資源であり、拠点の理解を持ち日中サービス支援型として地域での重要な役割を担う社会資源となり専門性の高いサービス、地域の参考ともいえる事業運営をすることが目的である。 【運営方針】 ・地域にとって必要な社会資源となる。 ・地域で困っていることは積極的にに解決したい。 ・住み慣れた地域で終末期まで支援できる環境を作る。 ・体験・短期入所を通じ幅広い方にグループホームの暮らしを知っていただく。 住み慣れた地域で、障害のある方でも家庭的な雰囲気の中自分らしく自立した生活を送っていただきたい。																									
9-2 職員の研修体制 ※項目1補足	<table><thead><tr><th>研修の種類</th><th>実施有無</th><th>受講人数</th></tr></thead><tbody><tr><td>強度行動障がいのある人の支援に関する研修</td><td>有 無</td><td>0人</td></tr><tr><td>精神障がいのある人の支援に関する研修</td><td>有 無</td><td>4人</td></tr><tr><td>医療的ケアのある人の支援に関する研修</td><td>有 無</td><td>4人</td></tr><tr><td>その他重度障がいのある人の支援に関する研修</td><td>有 無</td><td>4人</td></tr><tr><td>虐待防止・差別解消（権利擁護）に関する研修</td><td>有 無</td><td>7人</td></tr><tr><td>※その他、法人で実施した研修があれば適宜追加</td><td>-</td><td>人</td></tr><tr><td></td><td>-</td><td>人</td></tr></tbody></table>	研修の種類	実施有無	受講人数	強度行動障がいのある人の支援に関する研修	有 無	0人	精神障がいのある人の支援に関する研修	有 無	4人	医療的ケアのある人の支援に関する研修	有 無	4人	その他重度障がいのある人の支援に関する研修	有 無	4人	虐待防止・差別解消（権利擁護）に関する研修	有 無	7人	※その他、法人で実施した研修があれば適宜追加	-	人		-	人	
研修の種類	実施有無	受講人数																								
強度行動障がいのある人の支援に関する研修	有 無	0人																								
精神障がいのある人の支援に関する研修	有 無	4人																								
医療的ケアのある人の支援に関する研修	有 無	4人																								
その他重度障がいのある人の支援に関する研修	有 無	4人																								
虐待防止・差別解消（権利擁護）に関する研修	有 無	7人																								
※その他、法人で実施した研修があれば適宜追加	-	人																								
	-	人																								

項目	【事業所記入欄】 具体的な内容				【市町村協議会等記入欄】 要望・助言・評価			
9-3 野田市援護者数 ※項目2補足	野田市援護者数		2人 (男性	0人・女性	2人)			
	市外援護者数 (県内)		6人 (男性	1人・女性	5人)			
	市外援護者数 (県外)		4人 (男性	2人・女性	2人)			
	(利用者の援護地について、野田市援護者、市外援護者 (千葉県内又は千葉県外) の別で記入							
9-4 利用者の詳細 ※項目2補足	障がい種別		年齢		土日帰宅			
	知的・精神		64		無			
	精神・難病		50		有			
	身体		76		有			
	精神		56		無			
	知的・身体		56		有			
	精神		56		無			
	知的		5		無			
	知的		6		無			
	知的		6		有			
	精神		5		無			
	知的		6		無			

令和6年度報告・評価シート

【報告日 2024年 8月 22日】

【評価日 年 月 日】

項目	【事業所記入欄】										
1 施設概要	事業者名	グループホームふわふわ野田尾崎				日中					
	指定日	令和4年	4月	1日	世話人					生活支援員	
	所在地	野田市尾崎102-2				4人					7人
	定員数（共同生活援助）	10人				(常勤換算後)					(常勤換算後)
	定員数（短期入所）	1人				2.2人					3.6人
	共同生活住居数	1戸				夜間					
	【住居の内訳】	【定員数の内訳】				世話人（夜間）					生活支援員（夜間）
	【ふわふわ野田尾崎 A棟】	10名				1人					5人
	【ふわふわ野田尾崎 短期】	1名				(常勤換算後)					(常勤換算後)
						0.2人					0.8人
2 利用者状況 (令和6年7月31日現在)	障害支援区分	人数				主な障害種別利用者人数（重複はそれぞれ記入）					
	非該当	人				身体	総数：	1人			
	区分1	人					主に日中GHで過ごす人数：				1人
	区分2	人				知的	総数：	9人			
	区分3	人					主に日中GHで過ごす人数：				2人
	区分4	2人				精神	総数：	2人			
	区分5	6人					主に日中GHで過ごす人数：				1人
	区分6	2人				難病等	総数：	0人			
	合計	10人					主に日中GHで過ごす人数：				0人

項目	【事業所記入欄】 具体的な内容	【市町村協議会等記入欄】 要望・助言・評価
3 利用者の主な日中の活動について	・GH内で主によような日中サービスを提供しているか。 毎日、利用者様にスタッフが同行し近隣を散歩。 また、スーパーやドラッグストア等で買い物することもある。 ・外部の日中活動サービス等の利用人数及び内容について 前項「2 利用者状況」記載の利用者のうち、外部の日中活動サービスの利用者人数： 7人 生活介護、就労B型	
4 利用者に対する 地域生活の支援、 状況について	・利用者に対して外出や余暇活動の支援に努めているか。 スーパーやドラッグストア等で買い物をしたり、利用者様のご希望により図書館や電車を眺めに行く等過ごしています。 ・体験の利用等のニーズに対応しているか。 9名 利用者様の多くが体験を行い、利用者様のご希望とホーム側の受け入れが出来るかお互い確認を行い、入居につながっている。	
5 支援体制の確保について	・日中・土日を含めた常時の支援体制が確保されているか 日中2～3名体制。夜間は、1名体制。	

項目	【事業所記入欄】 具体的な内容	【市町村協議会等記入欄】 要望・助言・評価				
6 地域に開かれた運営について	・家族や地域住民との交流の機会が確保されているか。 ご家族様とは、日々の様子を電話連絡や面会・外出・外泊時にお伝えしています。 地域住民の方との交流は、挨拶程度で交流まで至っていない。 ・実習生やボランティアを積極的に受け入れているか。 <table><tr><td>受け入れ人数</td><td>実習生：0人</td></tr><tr><td></td><td>ボランティア：0人</td></tr></table> 今まで受け入れたことはないが、要請があった際は、検討をしていきたい。	受け入れ人数	実習生：0人		ボランティア：0人	
受け入れ人数	実習生：0人					
	ボランティア：0人					
7 短期入所の併設について	・地域で生活する障害のある方を積極的に受け入れているか。 現在満床により受け入れが困難であるが、空きが発生した際は、受け入れていきたい。 ・緊急・一時的な支援等の受け入れに対応しているか。 現在満床により受け入れが困難であるが、空きが発生した際は、受け入れていきたい。					
8 相談支援事業者や他のサービス事業所との連携状況について	利用者様の様子を毎月電話等で、関係機関と相談や報告をしている。					

項目	【事業所記入欄】 具体的な内容	【市町村協議会等記入欄】 要望・助言・評価		
9-1 設立目的・運営方針 ※項目1補足	【設立目的】日中サービス支援型は、地域での拠点整備という課題をクリアできる必要な社会資源であり、拠点の理解を持ち日中サービス支援型として地域での重要な役割を担う社会資源となり専門性の高いサービス、地域の参考ともいえる事業運営をすることが目的である。 【運営方針】 ・地域にとっても必要な社会資源となる。 ・地域で困っていることは積極的に解決したい。 ・住み慣れた地域で終末期まで支援できる環境を作る。 ・体験・短期入所を通じ幅広い方にグループホームの暮らしを知っていただく。 住み慣れた地域で、障害のある方でも家庭的な雰囲気の中自分らしく自立した生活を送っていただきたい。			
	9-2 職員の研修体制 ※項目1補足	研修の種類	実施有無	受講人数
		強度行動障がいのある人の支援に関する研修	有	無
精神障がいのある人の支援に関する研修		有	無	5人
医療的ケアのある人の支援に関する研修		有	無	2人
その他重度障がいのある人の支援に関する研修		有	無	4人
虐待防止・差別解消（権利擁護）に関する研修		有	無	6人
※その他、法人で実施した研修があれば適宜追加		-	-	人
	-	-	人	

項目	【事業所記入欄】 具体的な内容				【市町村協議会等記入欄】 要望・助言・評価	
9-3 野田市援護者数 ※項目2補足	野田市援護者数		6人 (男性	6人・女性	人)	
	市外援護者数 (県内)		0人 (男性	人・女性	人)	
	市外援護者数 (県外)		4人 (男性	4人・女性	人)	
	(利用者の援護地について、野田市援護者、市外援護者 (千葉県内又は千葉県外) の別で記入					
9-4 利用者の詳細 ※項目2補足	障がい種別	年齢	支援区分	日中活動	土日帰宅	
	知的	47	6	無	無	
	知的	22	5	有	無	
	知的・身体	33	4	有	無	
	知的	51	5	有	無	
	知的・精神	35	5	有	無	
	知的	41	5	有	無	
	知的	51	6	無	無	
	知的	48	4	有	無	
	知的	43	5	有	無	
知的	37	5	無	無		